

日本環境感染学会教育委員会主催

医療疫学トレーニングコース 基礎編 実施概要

2017年5月30日

本トレーニングコース全体の目的は、医療関連感染に関する疫学と集団発生（アウトブレイク）の原因調査に関する知識を備えた病院疫学者を育成することです。集団発生調査編コースに加え、集団発生調査時に必要となる疫学と統計学の基礎的知識を修得することを目標とした基礎編コースを実施しています。基礎編の実施概要を以下に示します。

目標：本トレーニングコース修了時点で、受講者は

1. 統計学・医療疫学の基礎的知識を説明できる。
2. 日々の微生物の検出状況や各種感染症の発生状況を整理し、必要な情報をエクセル等に入力および全体像を推測することができる。
3. 入力済みの情報を適切な方法で処理し、統計ならびに医療疫学の知識を活用し、結果を解釈し、まとめることができる。

注：本コースは、大阪会場で開催する集団発生調査編で必要となる統計学・医療疫学の知識ならびに技術を習得することを目指している。

日時ならびに開催場所：

2017年10月14日・15日（土曜日・日曜日）

ウィルあいち（名古屋市）

募集人数：40名。（なお、応募多数の場合の参加者については委員会に一任いただきます。応募資格や地域性等を考慮し調整させていただきます）。

募集時条件：（以下の4つを満たしていること）

- ① 日本環境感染学会の会員であること
- ② 医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験（1～2年程度）があること（どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 リンクナース歴1年）
- ③ 疫学・統計学を学びたいという強い意志があること
- ④ ノート型パソコンを持参できること

参加費：2万5千円（情報交換会費込み）

タイムスケジュールおよび内容：

第1日目（10月14日）

9:30～ 受付開始

9:50～ 開会の辞・オリエンテーション

10:00～11:50 講義（1）「記述統計の基礎」：統計学の基本となる記述統計（代表値、ばらつき、正規分布など）について学習する。

13:00～14:00 講義（2）「疫学の基礎知識①」：疫学の目的、比・割合・率の違い、サーベイランス結果から得られる指標の有病率、罹患率（発生率）、罹患密度（人年法）につ

いて学ぶ。

14:00～17:00 演習（1）「記述統計演習」：微生物検査室における MRSA の検査状況をもとにラインリストを作成し、さらにヒストグラムとして図式化を行う。このデータをもとに平均値や標準偏差などの算出を行う。表計算ソフトの基本的取り扱いについても学習する。

17:00～17:15 写真撮影

17:30～19:00 情報交換会（希望者のみ。コース申し込み時に希望を確認する。）

第2日目（10月15日）

9:00～10:00 講義（3）「疫学の基礎知識②」：曝露、曝露因子、リスク因子の定義について理解し、リスク因子と疾病との関連の疫学的指標について研究例を通して学ぶ。

10:00～11:30 演習（2）「疫学演習」：1日目に作成した MRSA のラインリストとヒストグラムをもとに有病率や罹患率の計算を行う。

12:30～13:45 講義（4）「推測統計の基礎」：仮説検定のプロセスやクロス表の作成について学習する。

14:00～16:45 演習（3）「推測統計演習」：作成した MRSA のラインリストをもとに実際にクロス表の作成およびカイ二乗検定を行う。

16:45～17:00 総括、修了書授与。

17:10 解散。